

# 伊丹ルーテル教会 復活節第四主日礼拝

## 2020年5月3日

父と、御子と、聖霊の御名により、**アーメン**。

前奏：いと高き神のみに栄光あれ(Allein Gott in der hoeh sei Ehr)

### **招きのことば：詩編 23 編より**

主は羊飼い、わたしには何も欠けることがない。

主はわたしを青草の原に休ませ/ 憩いの水のほとりに伴い/ 魂を生き返らせてくださる。

死の陰の谷を行くときも/ わたしは災いを恐れない。/ あなたがわたしと共にいてくださる。

あなたの鞭(むち)、あなたの杖(つえ)/ それがわたしを力づける。

命のある限り/ 恵みと慈しみはいつもわたしを追う。

主の家にわたしは帰り/生涯、そこにとどまるであろう。

### **罪の悔い改めと赦しのことば**

**会衆：**私たちは生まれつき、自分中心、わがままで、心の中に本当の愛のかけらもありません。

思いとことばと行いで、まことの神を軽んじて、となりびとにも愛のない、神の御前に罪人です。神様、ほんとうにごめんなさい。

私たちは祈ります。私たちを救うため あなたがお与えくださった イエス・キリストによって、どうかあわれんでください。アーメン。 (短い黙祷を持ちましょう)

**牧師：**何でもおできになる神様は、あなたのすべての罪を赦すために、そのひとり子、イエス・キリストを十字架の上で死に渡してくださいました。

ですから神様の御言葉をとりつぐ務めに任じられた牧師として、今、あなたがたに宣言します。父と、御子と、聖霊のお名前によって、あなたの罪は赦されました。安心して行きなさい。**アーメン**。

### **使徒信条**

**われは、天地のつくり主、父なる全能の神を信ず。**

**われは、そのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。**

主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、

ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死して葬られ、

陰府(よみ)にくだり、三日目によみがえり、天にのぼり、

父なる全能の神の右に座したまえり。

生ける人と死にたる人とを審かんがため、かしこより再びきたりたまわん。

**我は聖霊を信ず**、また、聖なるキリスト教会、すなわち聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、かぎりなきいのちを信ず。 **アーメン**。

## 祈り

愛とあわれみに満ちておられる私たちの父なる神様、

あなたは羊のような私たちをかえりみて、力強いのちあふれて歩ませてくださいます。今朝も復活の主を信じる信仰で満たしてください。

新型コロナウイルスの感染拡大がとまらずに、多くの方々が不安の中にいます。私たちにも日々大きな恐れがあります。私たちを助けてください。病気の治療にあたってくださっている方々、生活の必要なものをみんなのために整えて日夜働いてくださっている方々の疲れを癒やし、お支えください。これからどうなっていくのか、と心配するわたしたちすべてに平安を与えてください。

今週もビデオやプリントによって、私たちは別々のところで同じ礼拝にあずかります。この礼拝ができるようにかげにあって力になってくださった方々を祝福してください。私たちは復活の主イエス様のみ言葉を聴きます。どうぞお語りください。

この祈りを私たちの救い主であり主であるイエス・キリストのお名前によってお祈りいたします。 **アーメン。**

## 使徒書朗読：第1ペテロ 2:19-25

不当な苦しみを受けることになっても、神がそうお望みだとわきまえて苦痛を耐えるなら、それは御心に適うことなのです。罪を犯して打ちたたかれ、それを耐え忍んでも、何の誉れになるでしょう。しかし、善を行って苦しみを受け、それを耐え忍ぶなら、これこそ神の御心に適うことです。あなたがたが召されたのはこのためです。というのは、キリストもあなたがたのために苦しみを受け、その足跡に続くようにと、模範を残されたからです。「この方は、罪を犯したことがなく、その口には偽りがなかった。」のしられてもののしり返さず、苦しめられても人を脅さず、正しくお裁きになる方にお任せになりました。そして、十字架にかかって、自らその身にわたしたちの罪を担ってくださいました。わたしたちが、罪に対して死んで、義によって生きるようになるためです。そのお受けになった傷によって、あなたがたはいやされました。あなたがたは羊のようにさまよっていましたが、今は、魂の牧者であり、監督者である方のところへ戻って来たのです。

## 福音書朗読：ヨハネ 10:1-10

「はっきり言っておく。羊の囲いに入るのに、門を通らないでほかの所を乗り越えて来る者は、盗人であり、強盗である。門から入る者が羊飼いです。門番は羊飼いは門を開き、羊はその声を聞き分ける。羊飼いは自分の羊の名を呼んで連れ出す。自分の羊をすべて連れ出すと、先頭に立って行く。羊はその声を知っているのだから、ついて行く。しかし、ほかの者には決してついて行かず、逃げ去る。ほかの者たちの声を知らないからである。」イエスは、このたとえをファリサイ派の人々に話されたが、彼らはその話が何のことか分からなかった。

イエスはまた言われた。「はっきり言うておく。わたしは羊の門である。わたしより前に来た者は皆、盗人であり、強盗である。しかし、羊は彼らの言うことを聞かなかった。わたしは門である。わたしを通過して入る者は救われる。その人は、門を出入りして牧草を見つける。盗人が来るのは、盗んだり、屠ったり、滅ぼしたりするためにほかならない。わたしが来たのは、羊が命を受けるため、しかも豊かに受けるためである。

### 説教「命を豊かに受けるため」

私たちの父なる神様と御子イエス・キリストから、恵みと平安が豊かにありますように祈りつつ、み言葉をとりつぎます。

動画やプリントであずかる主日の礼拝です。祈りと期待をもって今日も御言葉にあずかってくださる皆さん、今朝は有名な詩編 23 編が読まれましたね。また、羊のような弱く迷いやすい私たちを羊の門として、またまことの羊飼いとして導いてくださるイエス様の言葉に触れましたね。イエス様はよみがえって、今も私たちに語り続けてくださいます。復活の主をおぼえるご挨拶をしましょう。

「ハレルヤ、イエス・キリストはよみがえられました」と言いますから、皆さんは「ハレルヤ、イエス・キリストはたしかによみがえられました」とおっしゃってください。

**牧師**：ハレルヤ、イエス・キリストは、よみがえられました！

**会衆**：ハレルヤ、イエス・キリストは、たしかに、よみがえられました！

十字架に掛けられて私たちの罪を赦してくださったイエス様は、約束の通り三日目の日曜日の朝、死からよみがえってくださいました。何が起こったのか戸惑う弟子たちに、イエス様はあらわれてくださいました。お墓の前でマグダラのマリヤに、次の日曜日の集まりでトマスに、失望してエマオに帰るの道すがらで二人の弟子にあらわれてくださいました。

それまでの常識は完全にやぶられました。死なれたイエス様がよみがえられたのです。人生がかえられました。イエス様がよみがえられたことを信じる信仰がわきあがるようにされました。それまでの不安や恐れ、迷いや失望から自由にされて、何か抑えきれない気持ちに突き動かされて、みんなと一緒に喜びをわかち合いました。

詩編 23 編の羊飼いと羊の関係からみると、イエス様という羊飼いを見失って散り散りばらばらになってしまいそうだった弟子たちが、復活された永遠の羊飼いに再び出会い、その声を聞くことで、ああ、もう大丈夫だ、とすっかり安心したということでしょうね。彼らはイエス様の声を聞いたので安心しました。

羊はとてもかわいい生き物ですね。今も昔も羊は羊飼いに守られて暮らしています。羊は近眼だと聞きます。食べ物のある草原がどこにあるか、いのちを狙う狼がどこで待ち伏せしているか、わかりません。逃げ足が速いとか、体の色がかわって見つかりにくくなるとか、牙や大きな羽根があるとか、生き物には自分の身を守るすべがあるのですが、羊はまったく無防備です。それで群れをなして暮らしています。迷ってしまうと家に帰る道も覚えていません。羊飼いなしには生きていけない動物です。

羊飼いはおいしいたべものをお腹いっぱいたべれる牧草地につれていってくれます。ゆたかな水辺でほっこり憩わせてくださいます。死ぬしかないかもしれない、という絶体絶命のときも羊飼いは何があっても大丈夫という安心を与えてくれます。よみがえったイエス様はまことの私たちの羊飼いです。だから、生きている限り、いや、これから終わることのない続く永遠の世界で、私たちは羊飼いのイエス様の恵み深さを、毎日新しく味わい続けます。

しかし、生きておられるイエス様のことば以外に、私たちをまどわす者がいます。ヨハネによる福音書10章でイエス様は羊の囲いに門を通らないでほかのところを乗り越えてくる羊どろぼうや強盗がいる、と言われました。自称預言者で、人のことばで羊を縛ります。

羊飼いの仕事は忙しいです。羊の群れを連れて野原のあちらこちらを移動します。狼や山犬から羊を守るために、囲いを築いて夜は羊をそこに導きます。その囲いの門を通らないで、囲いを乗り越えてくる悪い人たちが私たちを惑わす声です。イエス様は、わたしは羊の門です、と言われました。泥棒はイエス様以外の声です。私たちをまどわす声です。

泥棒の声は、人の声です。神様に気に入られるために、神様に救っていただくために、あなたは一生懸命規則を守りなさい、良いことに励みなさい、と私たちに勧めます。イエス様の前に来た指導者たちは断食をしなさい、困っている人に施しをしなさい、たくさん祈りなさい、と教えました。それら自身は悪いことではないのですが、そのようにがんばれるようになったら、それを認めて神様がすくってくださると教えました。でも、だれも完全に良い行いができる人はいません。結局イエス様ではなくて、なかなか良くなならない自分の心にいつも目を向けています。しかも自分は人の目をごまかして生きているということに自覚しているので、絶望です。

イエス様は羊の門です。私たちが良い行いをしたいと思っても、私たちの心が抵抗していい人になれないことをイエス様はご存じです。だからこそ、イエス様は十字架で、そんな罪深い私たちの神様からの罰を全部受けてくださり、死んでくださいました。神様はイエス様に免じて私の罪を赦してくださいます。そしてもうこれ以上私たちが罪の力、死の力、悪魔の力に縛ら

れないように、死を打ち破ってよみがえってくださいました。イエス様を信じて洗礼を受ける  
とき、このイエス様の赦しといのちにあずかります。

ヨハネによる福音書 10 章によれば、羊飼いは一匹一匹の羊の名前をよんで、連れ出してくれ  
ます。ということは良い羊飼いであるイエス様はあなたの名前をご存じだということです。あ  
なたの 1 日をご存じです。あなたの心の痛みも、迷いも、あなたがどんな経験してきたか、  
どんなことで苦しんでいるのか、あなたの名前をご存じのイエス様は、あなたのすべてをご存  
じです。そしてあなたをご自分のながされた血と裂かれた体によって確かに赦し、そしてあな  
たを新しい人にして、日々御言葉によって強め導いて、自分に与えられたいのちを神様と人々  
のために豊かに用いる生きがいに輝いて生かしてくださいます。

皆さん、よみがえられたイエス様に出会った人は新しく作りかえられました。マグダラのマリ  
ヤは大切なイエス様を見失って困っていました。よみがえられたイエス様は彼女に、「マリヤ  
よ」と呼びかけられました。トマスは他の弟子たちが喜んでいるのだけれど、どうにも一緒にな  
って喜ぶ気持ちになれなかったようです。十字架で釘や槍でつけられたイエス様の手や脇腹  
の傷跡を自分の指で確かめたい、といって仲間を困らせていたのですが、次の週にはイエス様  
はトマスにも現れて手と脇腹の傷を示してくださいました。十字架も復活も意味がわからず、  
家に帰ろうとしてたふたりの弟子たちとイエス様と一緒に歩いてくださいました。そして弟子  
たちが気がつくまでお話しを続けてくれました。

あなたは羊です。私たちは羊です。自分ではどこから来て、なぜここにいる、どこに行くのか  
知りません。強い力から身を守ることもできません。家に帰る道もわからず、日々の食べ物も  
自分で見つけることもできない弱い私です。人を傷つけ、自分のプライドに振り回され、後悔  
や恨みや劣等感や悪意を抑えきれません。

羊飼いのイエス様はあなたを責めるためにこられません。あなたの名前をご存じのイエス様は  
あなたのすべてをご存じです。その上で、あなたの重荷をご自分が負ってくださり、神様の子  
どもとして新しいいのちを与えてくださって、あなたを立ててあなたでなければならぬ使命  
にあなたを召してくださいます。

羊飼いは羊を無理矢理強制的に導くことはしません。むしろあなたを神様の言葉が捕らえて、  
あなたが喜んで自分から神様を喜び、神様に聞いて従う信仰を与えてくださいます。そして、  
誰もあなたから羊飼いへの信頼を奪う者はありません。

復活のイエス様は今日も、あなたをみ声をもって、名前をよんで連れ出してくださいます。不  
安と不確かさの支配するこの世の生活です。おびえる人々に希望と安心をあたえ、しっかり自

分に与えられた使命を果たし、みんなで共にまことの羊飼いであるイエス様のみ声に従って歩みましょう。赦された喜びにみたされ、新しい命にはつらつと生かされる一週間を主と共に過ごしてください。

人知をはるかに超えた神様の平安が、あなたの心と思いをまもってくださいます。アーメン。

**牧師**：ハレルヤ、イエス・キリストは、よみがえられました！

**会衆**：ハレルヤ、イエス・キリストは、たしかに、よみがえられました！

### 讚美歌 354 番

1. 牧主(かいぬし)わが主よ、まよう我らを 若草の野べに 導きたまえ。  
われらを守りて 養いたまえ、我らは主のもの、主に贖(あがな)わる。
2. 良き友となりて 常にみちびき、まよわば尋ねて ひき返りませ。  
われらの祈りを 受入れたまえ、我らは主のもの、ただ主に頼る。
3. 赦しのみちかい、救いのめぐみ、きよむる力は 皆主にぞある。  
我らをあがない 生命(いのち)をたまう、我らは主のもの、主に在りて生(い)く。
4. 御慈愛(みいつくしみ)をば 我らに満たし、今よりみむねを なさしめ給え。  
我らをあわれむ み恵みふかし、我らは主のもの、主をのみ愛す。 **アーメン。**

### 主の祈り

天にましますわれらの父よ、願わくはみ名をあがめさせたまえ。みくにを来たせたまえ。みこころの天になるごとく地にもなせたまえ。われらの日用のかてを今日も与えたまえ。われらに罪をおかす者をわれらが赦すごとく、われらの罪をもゆるしたまえ。われらを試みにあわせず、悪より救い出したまえ。国と力と栄えとは、限りなくなんじのものなればなり。アーメン。

### 頌栄の讚美歌 541 番

父、御子、みたまの大御神に、ときわにたえせず み栄えあれ、み栄えあれ。アーメン。

### 祝福のことば

仰ぎ来い願わくは、私たちの主、イエス・キリストの恵み、父なる神の愛、聖霊の親しきお交わりが、それぞれのところで共に礼拝にあずかっておられる一同とともに、今日も、この一週間も、いく久しくとこしえまでも、ゆたかにありますように。**アーメン。**